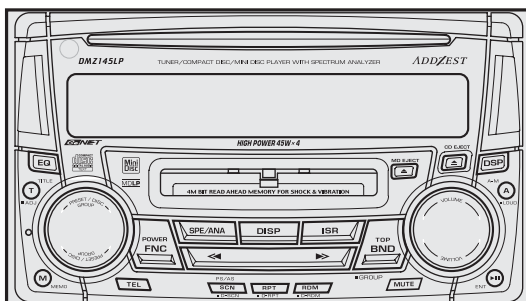
ADDZEST

DSP内蔵CD/MDセンターユニット

DMZ145LP

取扱説明書

MDLP

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●この取扱説明書には、本機で操作するCD/MDチェンジャー、TVチューナー、TELリンクユニットの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

■主な特長

■ご使用の前に

■取扱上のご注意

本機の操作

■各部の名称とはたらき

■基本の操作

■ラジオ放送を聴く

■CD/MDを聴く

■グループ編集MDを聴く

■DSP/EQを調整する

■タイトルをつける

■設定を変更する（アジャストモード）

目　次

外部機器の操作

■CD/MDチェンジャーの操作

■テレビを見る

■携帯電話機を操作する

■携帯用オーディオを聴く（AUXモード）

その他

主な特長

本機は、AM/FMラジオとMDデッキ、CDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の2DINセンターユニットです。

■MDLP再生機能　MDLP

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる（80分MD使用時）MDLP再生機能を搭載しています。
- グループ編集MD再生機能

■表示部

- 車内をカラフルに演出する8パターンのスペクトラムアナライザー

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

■CD/MDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- CDテキスト対応

■DSP/EQ(イコライザー)部

- 5種類のベーシックパターンから選べるデジタルサウンドプロセッサー（DSP）機能
- 4種類のベーシックパターンから選べるグラフィックイコライザー(G-EQ)機能

■タイトル入力/表示機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名、グループ名または曲名を表示させるタイトル機能

■CeNET（Clarion Entertainment Network"シーイーネット"）結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスは必要ありません。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■CDチェンジャーコントロール部（別販品接続時）

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているCDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

■MDチェンジャーコントロール部（別販品接続時）

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているMDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

■TVチューナーコントロール部（別販品接続時）

- TV1：6局、TV2：6局、合計12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能
- TVエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

■TEL-LINKユニットコントロール（別販品接続時）

- 携帯電話のハンズフリー通話を実現します。
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

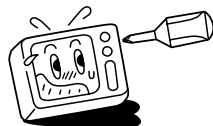
安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠警 告

●走行中は運転者による操作をしない・・・
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない・・・
運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

●本機を分解したり、改造しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

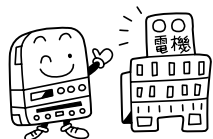
ご使用の前に

⚠ 警告

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する･･･

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する･･･

専門技術と経験が必要です。

⚠注意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

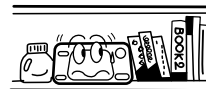
●ディスク挿入口に手や指を入れない・・・

ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。

●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

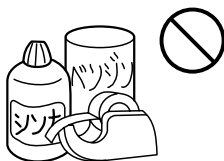
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする・・・

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

⚠注 意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

CDまたはMDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

ディスプレイについて

●本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

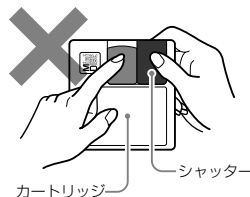
●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」（66ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

MDについて

マークのついたMDをご使用ください。

■取扱い上のご注意

●直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

●MDのシャッターを手で開けないでください。

● ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。
そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■お手入れ

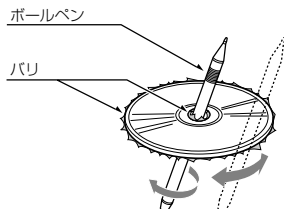
● カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

 または マークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

- ●CD-ROMは、本機では使用できません。
- ●CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

■取扱い上のご注意

- ●CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- ●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- ●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- ●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- ●直射日光の当たる場所
- ●湿気やホコリの多い場所
- ●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- ●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- ●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

EQボタン
- EQモードを選択します。
- 押し続けるとEQ機能をON/OFFします。

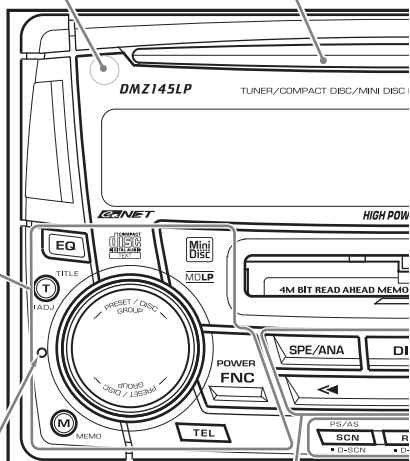
タイトルボタン
- ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けて各種設定や調整をするときに使います。（アジャストモード）

プリセットノブ（左右に回す）
- ラジオ/TVモード時は、プリセット選局します。
- DSP/EQモード時は、メニューを選択します。
- CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。
- 各種設定(アジャストモード)時は、設定項目を選択します。
- グループ編集MD再生時にグループを選択します。（グループ機能ON時）

メモリーボタン
- プリセットメモリーの登録時に使います。

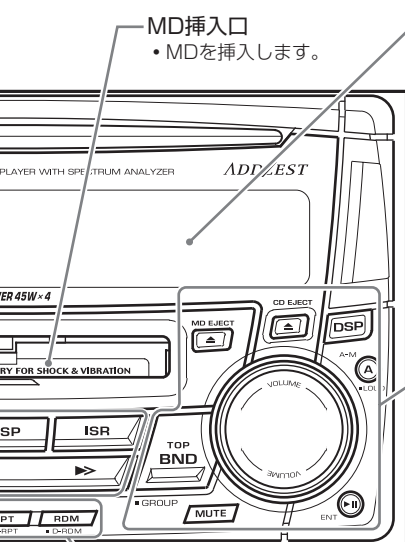
電話ボタン(TEL-LINKユニット接続時)
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼び出して電話をかけます。(スーパースピードダイヤル機能)

ファンクションボタン
- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)

スペアナボタン
- スペアナパターンを切り換えます。

ディスプレイボタン
- ディスプレイ表示を切り換えます。

ISRボタン
- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

※電話中の呼び出しはできません。

サーチボタン
- ラジオ/TVモード時は選局を、CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時には選曲をします。また、各種の設定や選択に使います。

MD EJECT

MDイジェクトボタン
- すでにMDが入っているときに押すと、MDがイジェクトされます。

CD EJECT

CDイジェクトボタン
- すでにCDが入っている時に押すと、CDがイジェクトされます。

DSP

DSPボタン
- DSPモードを選択します。
- 押し続けるとDSP機能をON/OFFします。

A-M A ■LOUD

オーディオモードボタン
- 音質とバランス/フェダーを調整します。
- 押し続けるとラウドネス(低音と高音を強調)をON/OFFします。

VOLUME

ロータリーボリューム（左右に回す）
- 音量の調整に使います。
- 各種調整に使います。

ENT

プレイ/ポーズボタン
- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時は、演奏を一時停止します。また、各種設定の決定をします。

MUTE

ミュートボタン
- 消音します。

TOP BND ■GROUP

バンドボタン
- ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて自動選局か手動選局に切り換えます。
- CD/MDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- CD/MDチェンジャーモード時は、次のディスクへ切り換えます。
- グループ機能のON/OFFの設定

PS/AS SCN ■D-SCN

スキャンボタン
- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

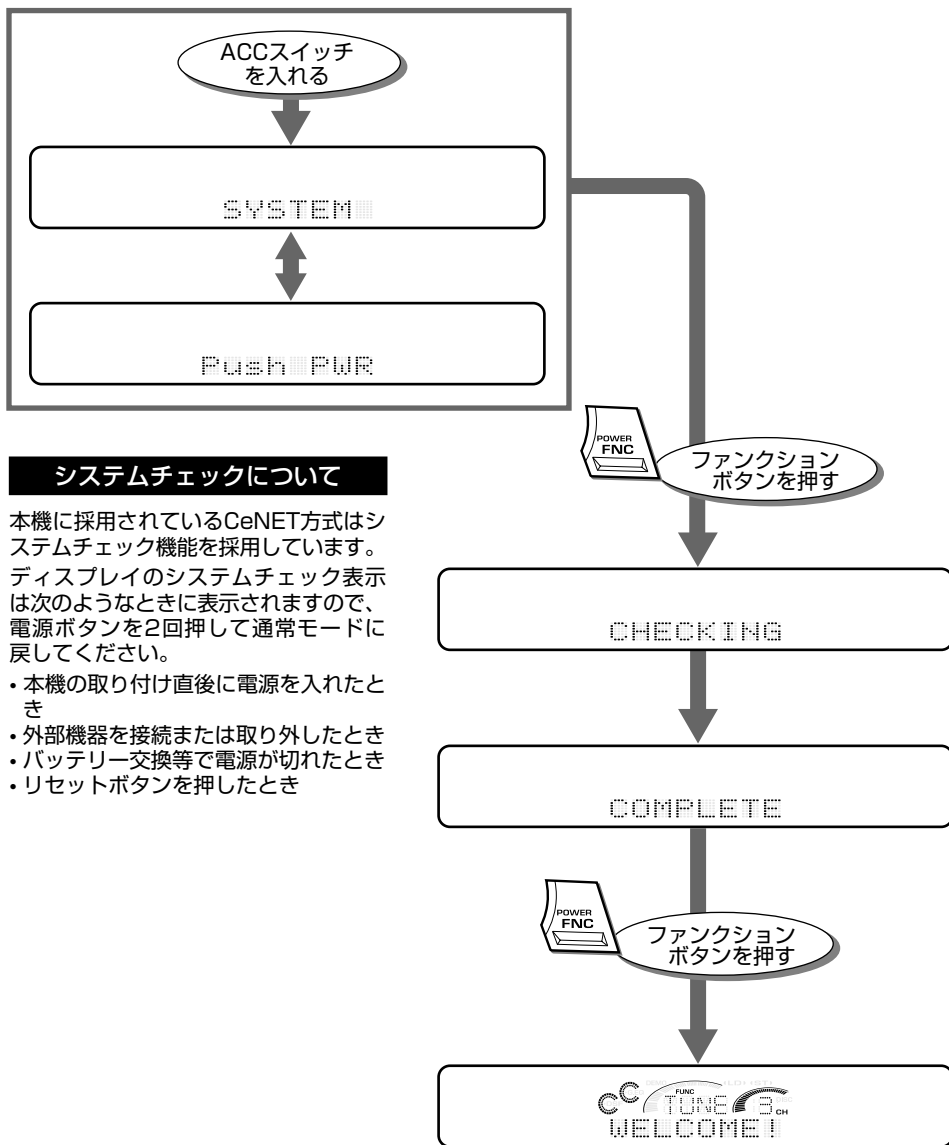
RPT ■D-RPT

リピートボタン
- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時に繰り返し演奏します。

RDM ■D-RDM

ランダムボタン
- CD/MDモードまたはCD/MDチェンジャーモード時には、ランダム演奏をします。

各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示

システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。

ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

電源ON/OFF時のディスプレイ表示

前回、電源をOFFしたときのモードを表示します。

モードを切り換える

ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

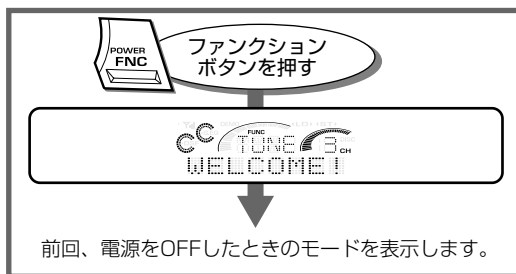
• ラジオモード

• CDモード

• MDモード

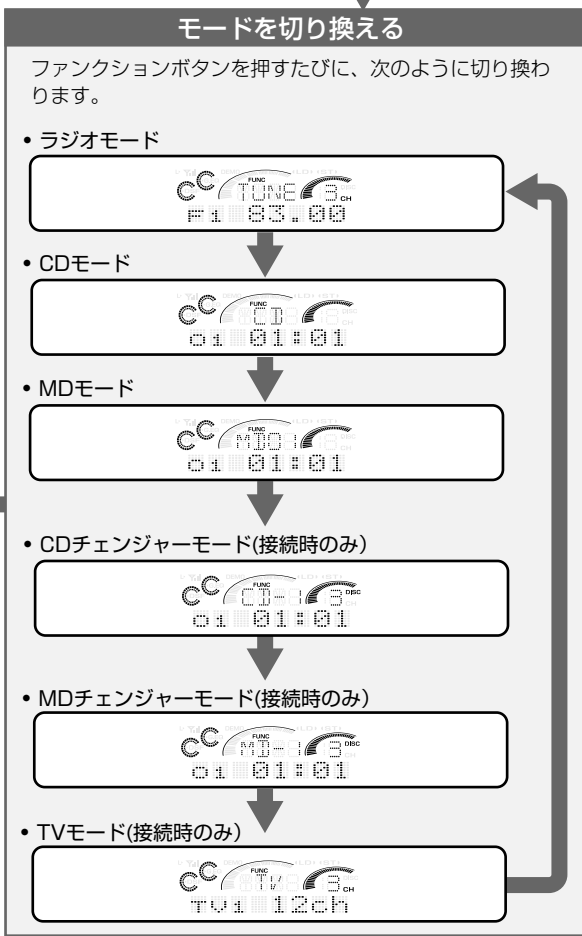
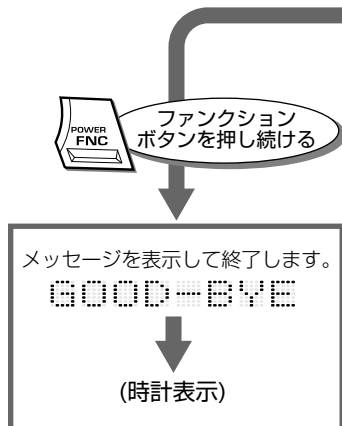
• CDチェンジャーモード(接続時のみ)

• MDチェンジャーモード(接続時のみ)

• TVモード(接続時のみ)

電源ON/OFF時のメッセージ表示について

初期設定ではON（表示する）に設定されています。設定をOFFにするには、「メッセージを表示させる（MESSAGE　)」(48ページ)をご覧ください。

メッセージを表示して終了します。

(時計表示)

各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

スペアナを切り換える

スペアナボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

• パターン1(PATTERN1)

• パターン2(PATTERN2)
• パターン3(PATTERN3)

⋮

• パターン8(SCAN)
• スペアナ OFF(OFF)

(28ページ)

設定する(アジャストモード)

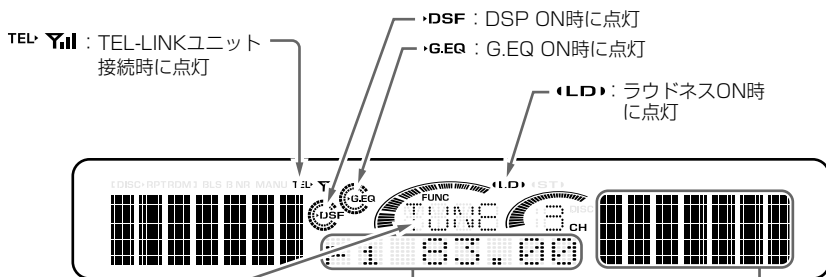
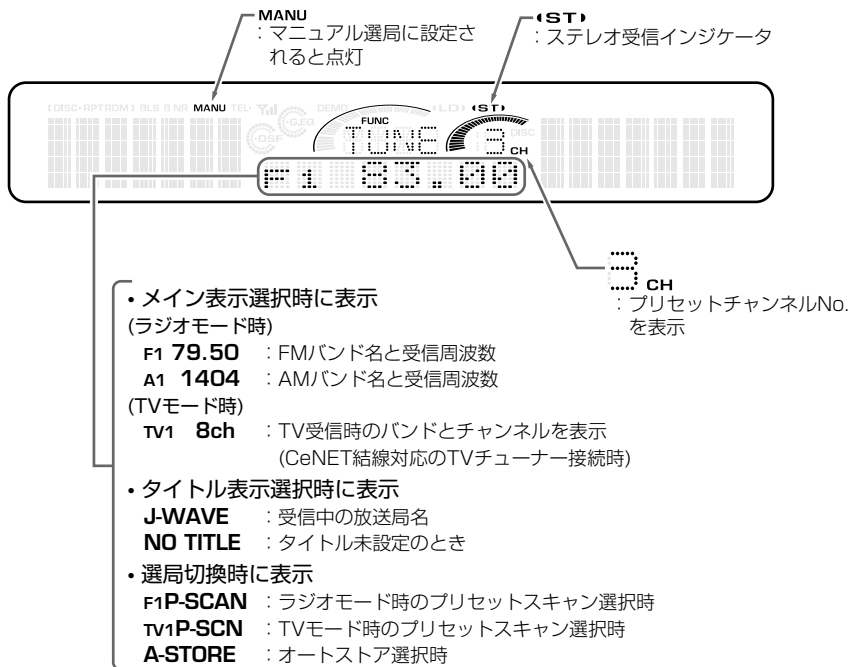
プリセットノブを回す。またはサーチボタンの◀◀または▶▶を押して、調整項目を選び、ロータリーボリュームを回して調整内容を設定します。 (46ページ)

• スペアナ感度の設定 **(S/A SENS)**

• スペアナ表示の速さ設定 **(S/A SPD)**
• メッセージ表示の設定 **(MESSAGE)**
• タイトルスクロール方法の設定 **(SCROLL)**
• チューナーエリアの設定 **(AREA)**
• TVダイバーシティの設定 **(TV DIVER)**
• TVエリアの設定 **(TV AREA)**
• 電話の割り込み設定 **(TEL-SP)**
• 時刻の設定 **(CLOCK)** (26ページ)

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

■ラジオ/TVモード時の表示

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■CD/MDモード時の表示

DISC ：グループ編集MD再生時
グループリピート、
グループランダムのときに点灯

▸RPT ：リピート演奏のときに点灯

▸RDM ：ランダム演奏のときに点灯

• メイン表示選択時に表示
01 00:00 ：演奏トラックと演奏時間

• タイトル表示選択時に表示
U NO TITL ：CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
D NO TEXT ：CDにおけるディスクタイトル未設定のとき
A NO TEXT ：CDにおけるアーティスト名未設定のとき
T NO TEXT ：CDにおけるトラックタイトル未設定のとき

D NO TITL ：MDにおけるディスクタイトル未設定のとき
G NO TITL ：MDにおけるグループタイトル未設定のとき
T NO TITL ：MDにおけるトラックタイトル未設定のとき

• 演奏切換時に表示
T-SCAN/G-SCAN ：スキャン演奏選択時
T-REPEAT/G-REPEAT ：リピート演奏選択時
T-RANDOM/G-RANDOM ：ランダム演奏選択時

• その他の表示
LOADING ：ディスクロード/リロード時
EJECT ：イジェクト時
NO DISC ：ディスクがないとき
ERROR2 ：エラー発生時
GRP READ ：グループ情報読み込み中
GROUP ：ディスク種別(グループ編集MD)
NO GROUP ：ディスク種別(MD)
GRP ON ：グループ機能ON
GRP OFF ：グループ機能OFF

■CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示

DISC: ディスクリピート、ディスクランダムのときに点灯

▸RPT : リピート演奏のときに点灯

▸RDM: ランダム演奏のときに点灯

DISC :演奏中のディスクNo.を表示

• メイン表示選択時に表示

01 00:00 :演奏トラックと演奏時間を表示

• タイトル表示選択時に表示

U NO TITL :CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
D NO TEXT :CDにおけるディスクタイトル未設定のとき
A NO TEXT :CDにおけるアーティスト名未設定のとき
T NO TEXT :CDにおけるトラックタイトル未設定のとき

D NO TITL :MDにおけるディスクタイトル未設定のとき
T NO TITL :MDにおけるトラックタイトル未設定のとき

• 演奏切換時に表示

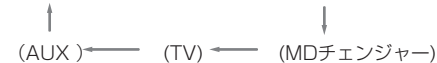
DISC -1	:ディスク選択時
T-SCAN	:スキャン演奏選択時
T-REPEAT	:リピート演奏選択時
T-RANDOM	:ランダム演奏選択時
D-SCAN	:ディスクスキャン演奏時
D-REPEAT	:ディスクリピート演奏時
D-RANDOM	:ディスクランダム演奏時

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-158)の使いかた

モードを選ぶ
ファンクションボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (TV) → (AUX) → ラジオ

●押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する
▲▼(ボリューム)ボタン

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える
バンドボタン

●最初の曲から演奏します。(CD/MDモード時)
●受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する
バンドボタン

●次のCD(またはMD)を演奏します。(チェンジャーモード時)

音を消す
ミュートボタン

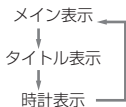
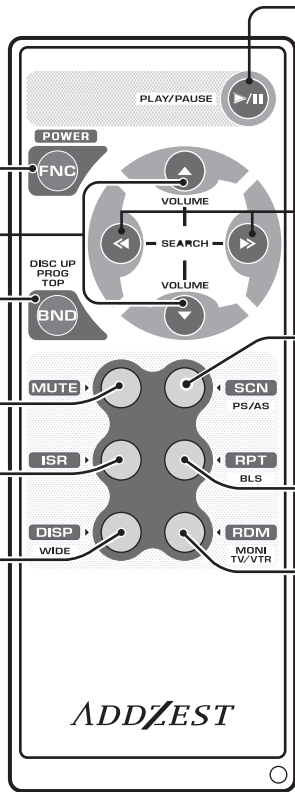
●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●モードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局を呼び出します。(電話モード中は、呼び出しはできません)
●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)
●元のモードに戻すには、もう一度ISRボタンを押します。

表示を切り換える
ディスプレイボタン

●次のように表示を切り換えます。

メイン表示 → タイトル表示 → 時計表示 → メイン表示

●タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。
- CDテキスト再生時は、ユーザータイトル→ディスクタイトル→アーティスト名→トラックタイトルを切り換えます。
- MD再生時は、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルを切り換えます。

演奏する

▶/II (プレイ・ポーズ)ボタン

●演奏を一時停止します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)

選曲する/選局する

⏪ ⏩ サーチボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする

スキャンボタン

●スキャン演奏します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(チェンジャーモード時)
●グループ編集MD再生時、押し続ける(約1秒間)と、グループスキャン演奏をします。
●プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
●また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
●解除するときは､もう一度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する

リピートボタン

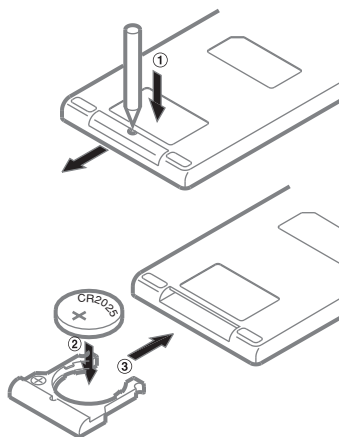
●繰り返し演奏します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
●グループ編集MD再生時、押し続ける(約1秒間)と、グループリピート演奏をします。
●TVモード時にステレオ/モノラルに切り換えます。
●TVモード時に押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。(2ヵ国語)
●解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える

ランダムボタン

●ランダム演奏します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時)
●グループ編集MD再生時、押し続ける(約1秒間)と、グループランダム演奏をします。
●TVモード時にTVをVTRに切り換えます。
●解除するときは、もう一度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

①リモコンを裏返し、先のとがった物で、ふたを矢印の方向に押しながら引き出します。
②電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。

⚠警 告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

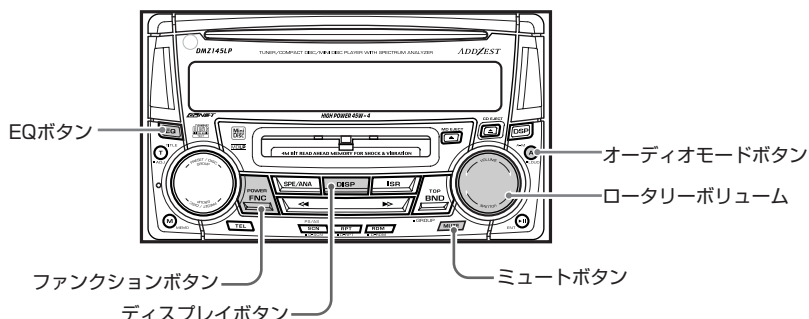
⚠注 意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

・指定電池以外は使用しない。
・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

ご注意

•リモコンではグループ機能のON/OFF切換えはできません。

基本の操作

電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに「**SYSTEM**」と「**Push PWR**」が交互に表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションボタンを押して下さい。

1 ファンクションボタンを押す

→前回の操作終了時のモードが表示されます。

•時刻の設定は、26ページをご覧ください。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ *電源を切るときは…*

ファンクションボタンを押し続け(約1秒間)てください。

モードを選ぶ

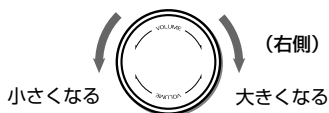
1 ファンクションボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ→CD→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)→(TV)→(AUX)→ラジオ

- 接続していない機器のモードは表示されません。
- CDモードやMDチェンジャーモード時に、ディスクが入っていないときは「**NO DISC**」を、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにマガジンが入っていないときには、「**NO MAGA**」を表示します。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す

→右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

⚠注 意

•運転中は車外の音が聴こえる程度の音量にしてください。

ラウドネス効果をON/OFFする

小音量でお聴きになるときには…

小音量でお聴きになるときには、低音・高音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

•ラウドネス効果を効かせるには、EQ効果を「OFF」に設定してください。(41ページ参照)

1 EQボタンを押し続ける(約1秒間)

2 オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)

→ONになると、「**LD**」が点灯してラウドネスの効いた音になります。

■ OFFにするには…

もう一度、押し続け(約1秒間)てください。

音を消す(ミュート)

1 ミュートボタンを押す

MUTE

→モード表示部に「**MUTE**」とモード表示を交互に表示します。

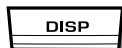
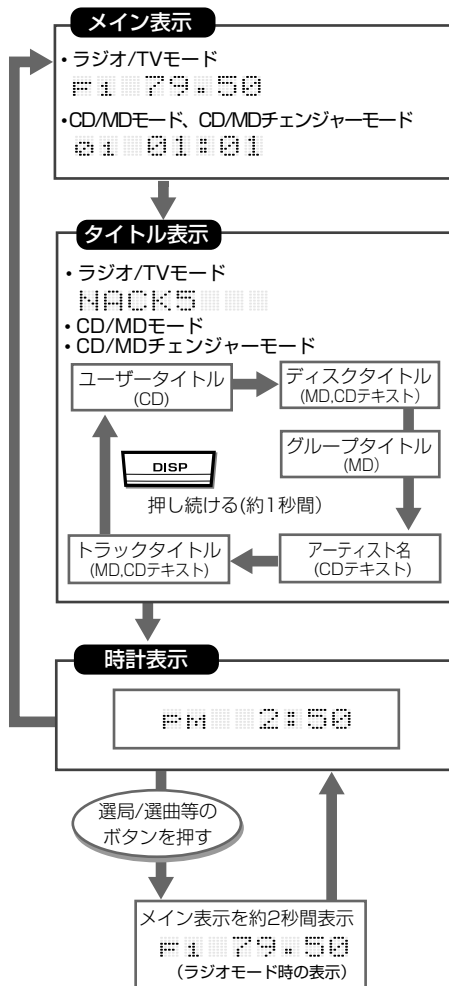
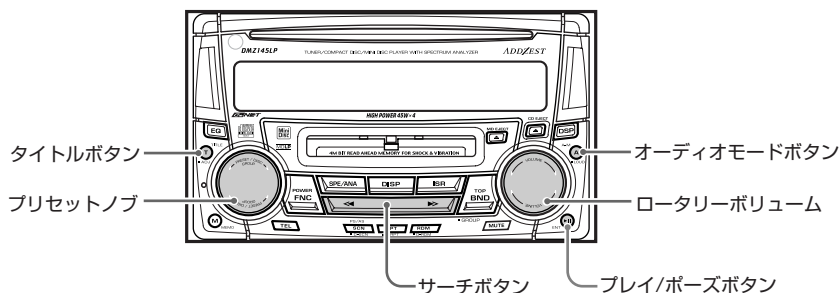
■ 元の音量に戻すには…

もう一度、ミュートボタンを押してください。

表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

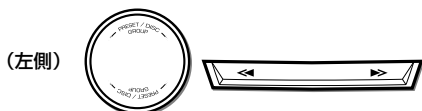
→押すたびに、次のように切り換わります。

本機の操作

基本の操作

時刻を合わせる

時計表示について…
本機は、車のエンジン作動時（ACC ON時）に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

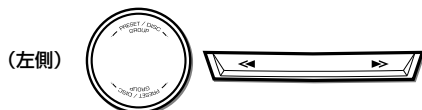
1 タイトルボタンを押し続ける（約1秒間）

→「 **S/A SENS** 」が表示されます。

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「 **CLOCK E** 」を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタンを押して、時計を表示させる

→「 **AM 12:00 E** 」を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、時または分を選ぶ

- 点滅している項目を調整できます。

5 ロータリーボリュームを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズボタンを押す

→「 **CLOCK E** 」を表示して時刻が設定されます。

ご注意

点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう一度時刻合わせをしてください。

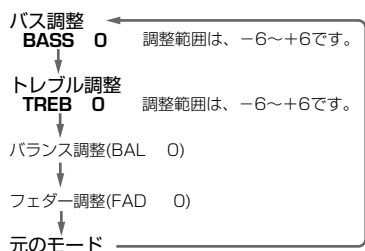
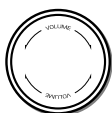
7 タイトルボタンを押して元のモードに戻る

音質を調整する(バス/トレブル)

EQがONのときは、調整できません。「EQメニューを選ぶ」(41ページ)で調整してください。

1 オーディオモードボタンを押す

2 オーディオモードボタンを押して、バス(BASS)/トレブル(TREB)調整を選ぶ

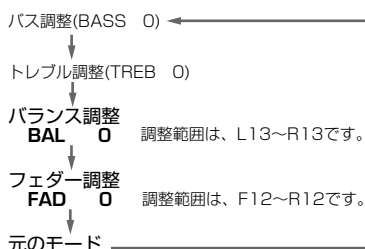
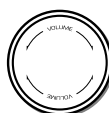
→押すたびに、次のように切り換わります。

3 ロータリーボリュームを回して、調整する

4 オーディオモードボタンを押す

→元の表示に戻ります。

バランス/フェダーを調整する

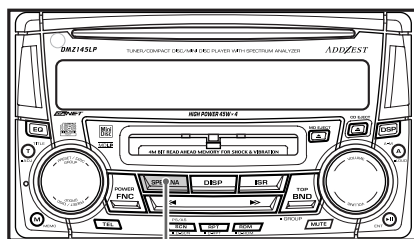
1 オーディオモードボタンを押す

2 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL)/フェダー(FAD)調整を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

3 ロータリーボリュームを回して、調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整
→右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整
→右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

4 オーディオモードボタンを押す

→元の表示に戻ります。

スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー（スペアナ）とは…

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、8種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

1 スペアナボタンを押す

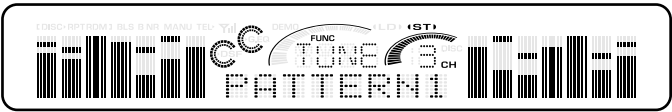
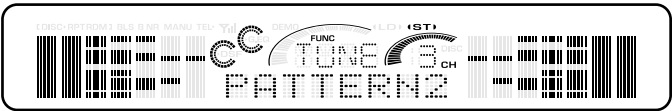
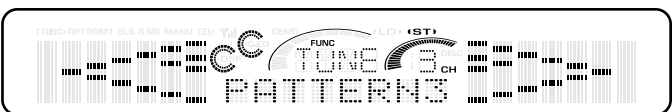
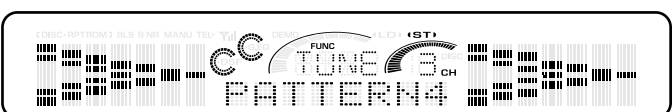
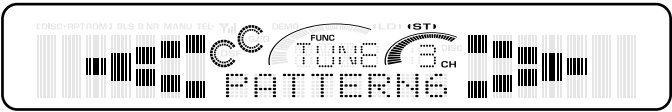
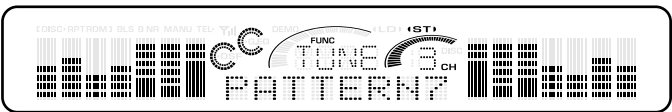
→押すたびに、スペアナパターンがパターン1→パターン2･･･パターン9と切り換わります。スペアナパターンについては、次ページをご覧ください。

- スペアナのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。
- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- 「**NO DISC**」表示中。
- エラー表示中。
- 消音（ミュート）中、一時停止中。

■ スペアナの感度について…

スペアナの感度（SENSITIVITY）は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

- 初期設定は「MID」です。

設定のしかたは、「スペアナの感度を設定する（S/A SENS）」（47ページ）をご覧ください。

■ スペアナ表示の速さについて…

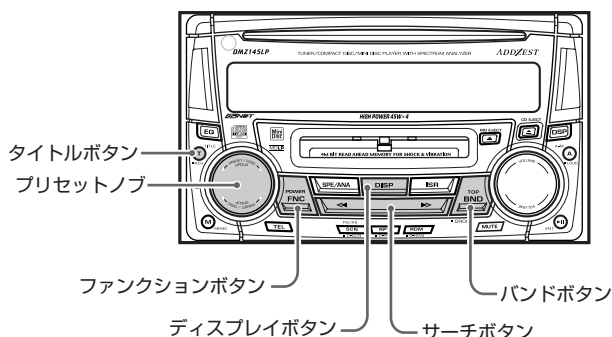
スペアナ表示の速さを3種類(HIGH、MID、LOW)に切り換えることができます。

- 初期設定は「HIGH」です。

設定のしかたは、「スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPD)」(47ページ)をご覧ください。

スペアナパターンについて

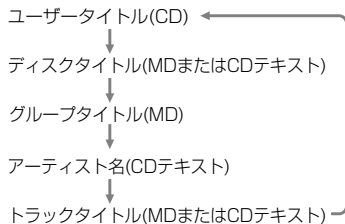
パターン	表示
パターン1 (PATTERN1)	
パターン2 (PATTERN2)	
パターン3 (PATTERN3)	
パターン4 (PATTERN4)	
パターン5 (PATTERN5)	
パターン6 (PATTERN6)	
パターン7 (PATTERN7)	
パターン8 (SCAN)	パターン1から7のスペアナパターンを順次切り換えて表示します。
パターン9 (OFF)	選択モードに応じた選局/選曲等の情報を表示します。

基本の操作

タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

CDテキストまたはMD再生時に、ディスクに登録されているディスクタイトル、グループタイトル(MDのみ)、トラックタイトル、アーティスト名(CDテキストのみ)をディスプレイに表示します。

1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

→押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

- タイトル未設定のときは、「 U NO TITL 」等を表示します。詳しくは「モード別ディスプレイ表示」(20ページ)をご覧ください。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)」(48ページ)で選択したスクロール方法に従い表示します。

- 「**ON**」：自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「**OFF**」：タイトルボタンを押すとスクロールします。

1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す

→タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の8文字表示に戻ります。

ご注意

CDモード、CDチェンジャーモードで「USER TTL」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

→押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ→CD→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)→(TV)→(AUX)→ラジオ

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

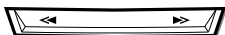
→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2→FM1

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

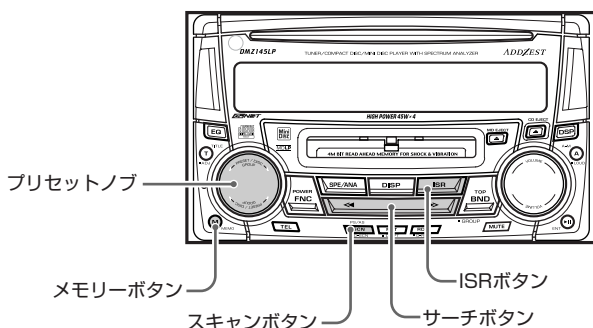
プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 プリセットノブを回して、聴きたい放送局を選ぶ

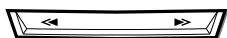
(左側)

→ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

本機の操作

ラジオ放送を聴く

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

2 メモリーボタンを押す

→ディスプレイの「**CH**」が点滅します。

3 プリセットノブを回して、登録したいプリセットメモリ番号を選ぶ

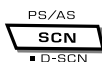
（左側）

4 メモリーボタンを押し続ける（約2秒間）

→登録されると、ディスプレイの「**CH**」表示が点滅から点灯に変わります。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について･･･
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける（約2秒間）

→タイトル表示部に「**A-STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー（1～6）に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す

→タイトル表示部に「 **FI P-SCAN** 」を表示し、モード表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットスキャンはFM1,FM2あるいはAM1,AM2のプリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

(初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています)

1 ISRボタンを押す

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数(「**AM 1620**」)を、モード表示部「**ISR**」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■ 元のモードに戻すには…

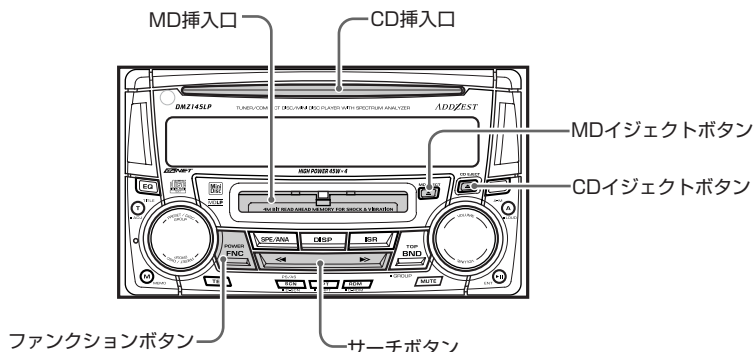
もう一度、ISRボタンを押してください。

■ ISRメモリーに登録するには…

ラジオモードで、登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け(約2秒間)てください。

→ISRメモリーに登録されます。

本機の操作

CD/MDを聴く

ディスクを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…

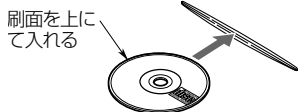
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればCDまたはMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠注 意

•CD/MD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。

•セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■CDの場合

1 CD挿入口にCDを入れる

→CDを入れると、演奏が始まります。

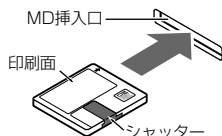
- COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのないCDやCD-ROMは、使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- CDは、印刷されている面を上にして入れてください。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。

•ブランクディスク(未録音 CD-R)を入れた場合、ディスクをイジェクトします。

■ シングルCD（8cmCD）について…

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■MDの場合

1 MD挿入口にMDを入れる

→MDを入れると、演奏が始まります。

- 本機は Mini Disc マーク表示の無いMDは使用できません。
- MDは、印刷面を上に、シャッター板を右側にして入れてください。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。

•ブランクディスク(未録音 MD)を入れた場合、MDをイジェクトします。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDまたはMDを取り出すことができます。

■CDの場合

1 CDイジェクトボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズがつく恐れがあります。

■MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す

→MDがイジェクトされます。

- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションボタンを押して、CDまたはMDモードを選ぶ

→CDまたはMDモードになると、自動的に演奏が始まります。

- 押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

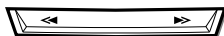
ラジオ→CD→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)→(TV)→(AUX)→ラジオ

■ グループ編集MDを聴くには…

本機のグループ機能を「ON」にすることにより、グループ編集MDを聴くことができます。基本的な操作については、「**CD/MDを聴く**」と同様です。また、グループ機能に関連した操作については、「**グループ編集MDを聴く**」(38ページ)をご覧ください。

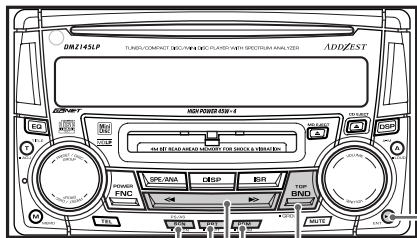
曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す

→▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

CD/MDを聴く

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

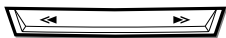
2 早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタンを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

ご注意

グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、演奏しているグループの最初の曲から演奏をはじめます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

PS/AS
SCN
■ D-SCN

→タイトル表示部に「**T-SCAN**」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→タイトル表示部の「**T-SCAN**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

RPT
■ D-RPT

→ディスプレイに「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**T-REPEAT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
ディスクに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RDM
■ D-RDM

→ディスプレイに「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**T-RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

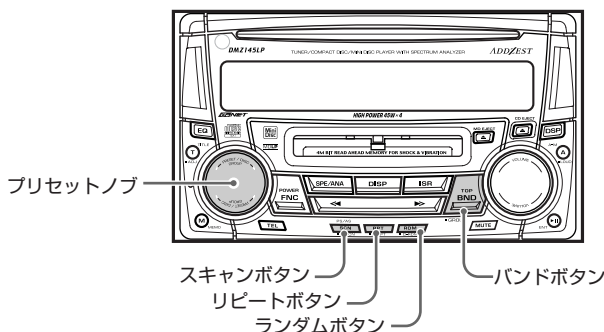
■ ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、グループ内の曲を順不同に演奏します。

グループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループ機能をON時にして、グループ編集MDを再生すると、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。

- 初期設定は、「**GRP　ON**」です。

1 MDモードの状態でバンドボタンを押し続ける（約1秒間）

→バンドボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

■ グループ機能ONのとき…

グループを優先して演奏をします。

■ グループ機能OFFのとき…

通常のMDと同様にトラックNO.の順に演奏します。

（例）トラック数が10個あり、3つのグループに編集されたMD

- グループ 1　GROUP A　トラックNo. 2, 3
- グループ 2　GROUP B　トラックNo. 5, 6, 7
- グループ 3　GROUP C　トラックNo. 8, 9
- グループ編集されていない　トラックNo. 1, 4,10

■ グループ機能OFF時に演奏される順番（トラックNo.の順に演奏をします）

グループタイトル		GROUP-A			GROUP-B			GROUP-C		
トラックNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

■ グループ機能ON時に演奏される順番（グループを優先して演奏をします）

グループタイトル	GROUP A		GROUP B			GROUP C		NON GRP (※1)		
グループNo.	MD01		MD02			MD03		MD--		
トラックNo.　(※2)	2	3	5	6	7	8	9	1	4	10

※1グループ編集されていない曲は、NONグループとしてまとまり、最終グループで演奏します。
※2トラックNo.表示は、順番には並びません。

グループを切り換える

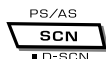
1 プリセットノブを回す

（左側）
→モード表示部にグループNo.（「**MD01**」など）を表示して、演奏をはじめます。

聴きたいグループを探す（グループスキャン演奏）

グループスキャン演奏について…
グループ編集MD全グループの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける（約1秒間）

PS/AS
SCN
■ D-SCN

→タイトル表示部に「**G-SCAN**」を表示して、グループスキャン演奏をします。

- グループスキャン演奏は、演奏しているグループの次のグループからはじまります。

■ *グループスキャン演奏を解除するには…*

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→タイトル表示部の「**G-SCAN**」が消え、いま演奏しているグループから演奏します。

1つのグループを繰り返し聴く（グループリピート演奏）

グループリピート演奏について…
演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける（約1秒間）

RPT
■ D-RPT

→ディスプレイに「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**G-REPEAT**」を表示して、グループリピート演奏をします。

■ *グループリピート演奏を解除するには…*

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が消え、通常の演奏になります。

全グループの演奏をランダムに聴く（グループランダム演奏）

グループランダム演奏について…
グループ編集MDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける（約1秒間）

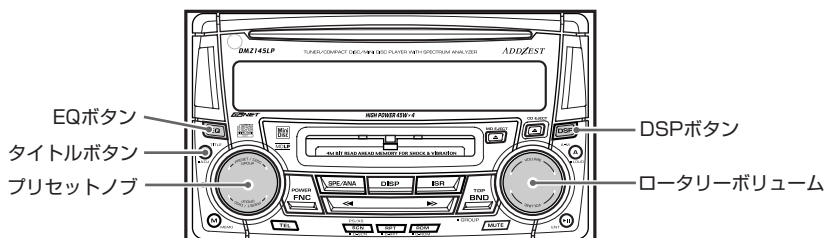
RDM
■ D-RDM

→ディスプレイに「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**G-RANDOM**」を表示して、グループランダム演奏をします。

■ *グループランダム演奏を解除するには…*

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

DSP/EQを調整する

DSPメニューを選ぶ

DSP機能について…

DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシュミレーションしてお楽しみいただく機能です。

1 DSPボタンを押す

→ディスプレイの「**DSF**」が点滅します。

2 プリセットノブを回して、DSPメニューを選ぶ

(左側)

●DSPメニュー

機能名	内容
STADIUM	スタジアムでの開放感あふれるサウンド
HALL	大ホールのような音場
CLUB	小規模なディスコホールのような音場
CHURCH	大聖堂のような音場
L-ROOM	リスニングルームのような音場

3 DSPボタンを押して、元のモードに戻る

DSP効果をON/OFFする

ディスプレイに ▸DSF が表示されているときは、DSP効果が「**ON**」に設定されています。

- 初期設定は「**ON**」です。

DSP効果を「**OFF**」に設定していると、「DSPの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 DSPボタンを押し続ける(約1秒間)

→DSPボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

エフェクト(EFFECT)を調整する

エフェクトについて…

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機は反射音の効果量を変えられます。

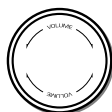
1 DSPボタンを押す

→ディスプレイの「**DSF**」が点滅します。

2 プリセットノブを回して、調整したいDSPメニューを選ぶ

（左側）

3 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

4 ロータリーボリュームを回して、調整する

（右側）

• エフェクトの調整項目は、0%〜70%です。

5 タイトルボタンを押して、DSPメニューに戻る

→調整したDSPメニューに戻ります。

6 DSPボタンを押して、元のモードに戻る

EQメニューを選ぶ

EQ機能について…

4種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してください。

1 EQボタンを押す

→ディスプレイの「**G.EQ**」が点滅します。

2 プリセットノブを回して、EQメニューを選ぶ

（左側）

●EQメニュー

機能名	内容
IMPACT	低域と高域を増強
B-BOOST	低域を増強
ACOUSTIC	中域を増強
FLAT	原音、フラットイコライジング

3 EQボタンを押して、元のモードに戻る

EQ効果をON/OFFする

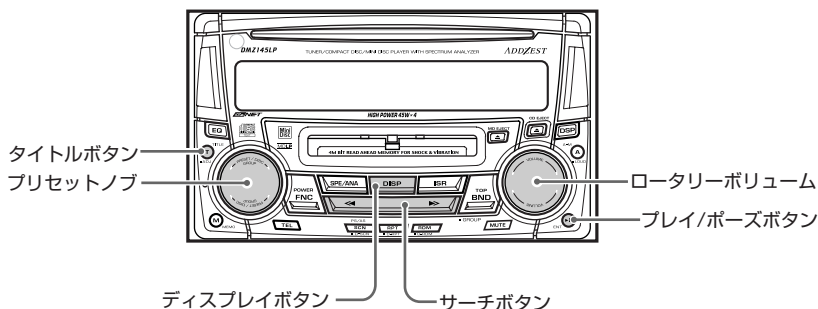
ディスプレイに **G.EQ** が表示されているときは、EQ効果が「**ON**」に設定されています。

•初期設定は「**ON**」です。

EQ効果を「**OFF**」に設定していると、「EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 EQボタンを押し続ける（約1秒間）

→EQボタンを押し続けるたびにON/OFFが切り換わります。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。（ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時）

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TVモード　：30タイトル
- CDモード　：50タイトル
- CDチェンジャーモード
  DCZ625　：60タイトル
  CDR1255z　：50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USER TTL**」に設定する

•ラジオ/TVモードのエリアを「**USER TTL**」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(49ページ)、「TVエリアを設定する」(50ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

DISP

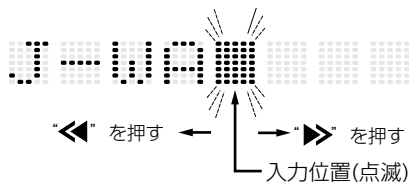
• CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)ユーザータイトルに切り換えてください。(30ページ参照)

4 タイトルボタンを押す

→ディスプレイのモード表示部に「**TITL**」が表示され、タイトル入力モードになります。

5 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、入力位置を決める

（左側）

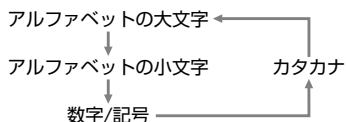
→点滅している文字位置が左右に移動します。

• 入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ

DISP

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。

入力文字種類

- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? α ＊ # $ % & ¥ ＋ − × / ＝( )〈 〉" → ← ↑ ↓ ↘↖ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ ♯ ♭ ♪ ♪ 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「」

7 ロータリーボリュームを回して、入力文字を決める

（右側）

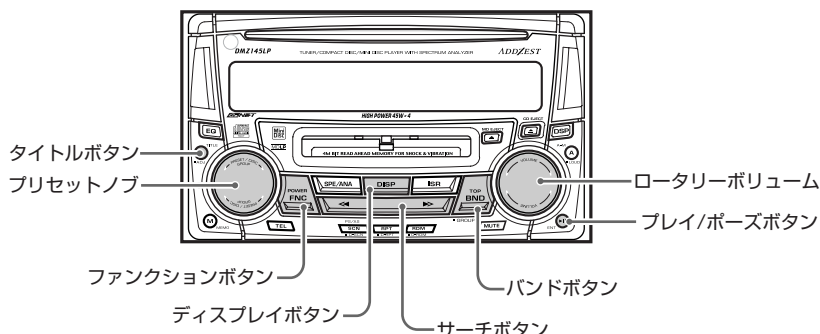
8 手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力する

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける（約2秒間）

→タイトル表示部に「**MEMORY**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ *タイトルメモリーがいっぱいになると…*

- ラジオ局タイトルの場合
  プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
  演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルをつける

イージーインプットをする

イージーインプットについて…
本機は、チューナーエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TTL**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

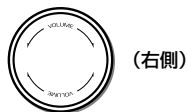
ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

1 ラジオモードにしてタイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**AREA E**」を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタンを押す

4 ロータリーボリュームを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ

- 受信エリアについては、「**チューナーエリアを設定する(ARER)**」(49ページ)をご覧ください。

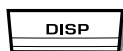
5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

ENT

タイトルを削除する

1 ファンクションボタンを押してモードを選ぶ(ラジオ/TVまたはCD/CDチェンジャー)

2 削除したいタイトルのラジオ局を受信するまたはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

4 タイトルボタンを押す

→ディスプレイのモード表示部に「**TITL**」が表示され、タイトル入力表示になります。

5 バンドボタンを押す

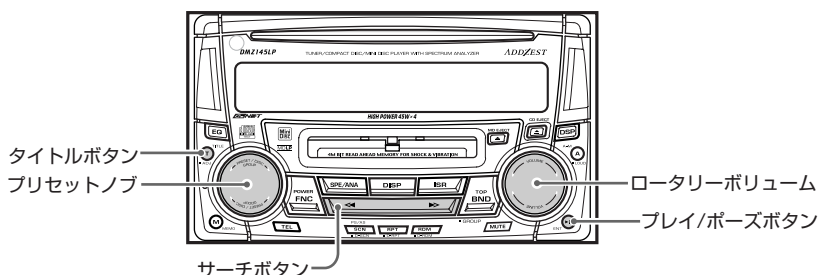
→タイトルが消えます。

6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトルが削除され次のように表示されます。

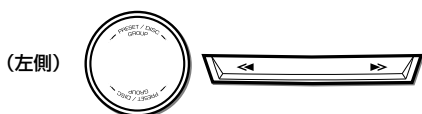
- ラジオ/TVモードのとき:
  「**NO TITLE**」
- CD/CDチェンジャーモードのとき:
  「**U NO TITL**」

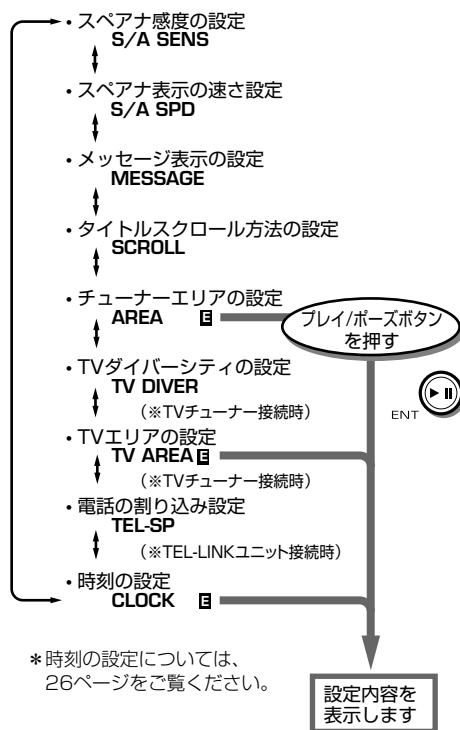
本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**S/A SENS**」を表示して、アジャストモードになります。

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、設定項目を選ぶ

- 設定項目は右図のように切り換わります。
- 末尾に E が表示されている項目名は、プレイ/ポーズボタンを押して、設定内容表示に切り換えます。
- 末尾に E の表示がない項目名は、項目を選択してから約2秒後に、設定内容表示に切り換わります。

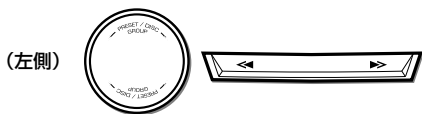
＊時刻の設定については、26ページをご覧ください。

スペアナの感度を設定する(S/A SENS)

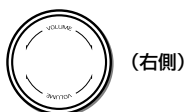
スペアナ感度について…

スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。

- 初期設定は、「**MID**」です。
- スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**S/A SENS**」を選ぶ

→「**S/A SENS**」を選ぶと、2秒後に感度調整表示(「**MID**」等)になります。

3 ロータリーボリュームを回して、スペアナ感度を設定する

→スペアナ感度は次のように切り換わります。

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

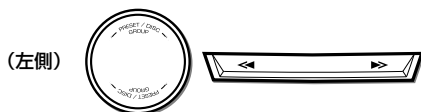
スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPD)

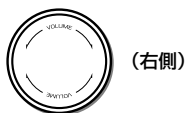
スペアナ表示の速さについて…

スペアナ表示の速さは、パターンの切り換え表示の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

- 初期設定は、「**HIGH**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**S/A SPD**」を選ぶ

→「**S/A SPD**」を選ぶと、2秒後に感度調整表示(「**HIGH**」等)になります。

3 ロータリーボリュームを回して、スペアナ表示の速さを設定する

→スペアナ表示の速さは次のように切り換わります。

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

設定を変更する(アジャストモード)

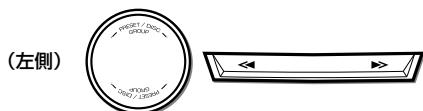
メッセージを表示させる(MESSAGE)

メッセージ表示機能について…

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。
本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- 初期設定は、「**ON**」です。
- 設定をONにすると、
電源を入れたときに「**WELCOME!**」、
電源を切ったときに「**GOOD-BYE**」を表示します。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**MESSAGE**」を選ぶ

→「**MESSAGE**」を選ぶと、2秒後に設定表示が「**ON**」等になります。

3 ロータリーボリュームを回して、メッセージ表示を設定する

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

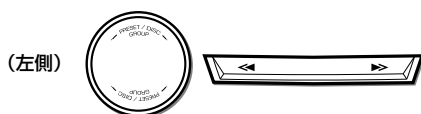
タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

- 初期設定は、「**ON**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**SCROLL**」を選ぶ

→「**SCROLL**」を選ぶと、2秒後に設定表示が「**ON**」等になります。

3 ロータリーボリュームを回して、スクロール方法を設定する

→回すたびに、次のように表示が切り換わります。

ON：自動でスクロールします。

↕

OFF：タイトルボタンを押すとスクロールします。

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

チューナーエリアを設定する(AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

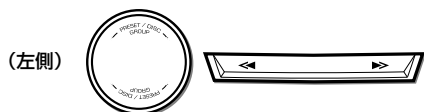
- 初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TTL**」にしてください。
  また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルを入力する」(42ページ)をご覧ください。

イージーインプット機能について…

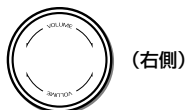
チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TTL」メモリーへ登録されます。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**AREA E**」を選ぶ

（左側）

3 プレイ/ポーズボタンを押す

4 ロータリーボリュームを回して、ラジオの受信エリアを選ぶ

（右側）

→回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の11種類から選ぶことができます。

●チューナーエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TTL	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

5 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

本機の操作

設定を変更する（アジャストモード）

TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて…

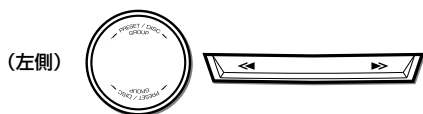
テレビエリア（テレビを受信する地域）を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。（TVチューナー接続時）

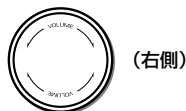
- 初期設定は、「カントウ」(関東)です。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TTL**」にしてください。
  また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(42ページ)をご覧ください。

イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「USER TTL」メモリーへ登録されます。

1 タイトルボタンを押し続け（約1秒間）て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**TV AREA E**」を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタンを押す

4 ロータリーボリュームを回して、TVエリアを選ぶ

→回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次のの２２種類から選ぶことができます。

●TVエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TTL	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

5 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

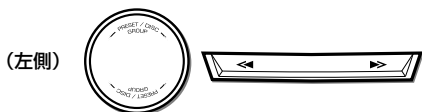
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

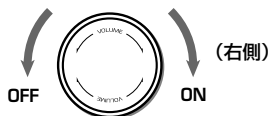
TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

- 初期設定は「**ON**」です。
- TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「 **TV DIVER** 」を選ぶ

→「**TV DIVER**」を選ぶと、2秒後に設定表示が「**ON**」等になります。

3 ロータリーボリュームを回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

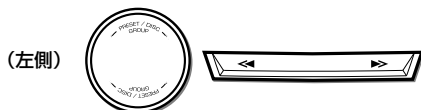
電話の割り込みを設定する(TEL-SP)

電話の割り込み機能について…

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット(JCH540Z)を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- 初期設定は「**LEFT**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

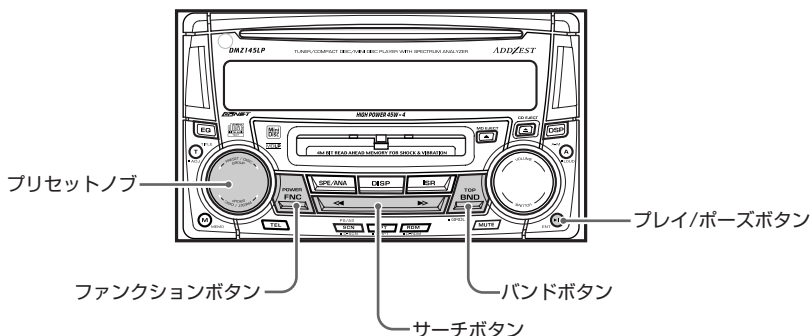
2 プリセットノブを回す。またはサーチボタンを押して、「**TEL-SP**」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して、「**LEFT**」または「**RIGHT**」を選ぶ

ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

CD/MDチェンジャーの操作

CDチェンジャーについて…

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて…

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて…

本機ではCD-ROMを操作できません。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ

→CD(またはMD)チェンジャーモードになると、ディスプレイに「**DISC** 」が点灯し、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ→CD→MD→(CDチェンジャー)→(MDチェンジャー)→(TV)→(AUX)→ラジオ

■*2台のCD（またはMD）チェンジャーを接続したときは…*

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAGA**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(30ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 プリセットノブを回す

または、バンドボタンを押す

→タイトル表示部にディスクNo.（「**DISC-3**」など）を表示して、演奏をはじめます。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

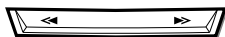
2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す

→▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→◀◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける

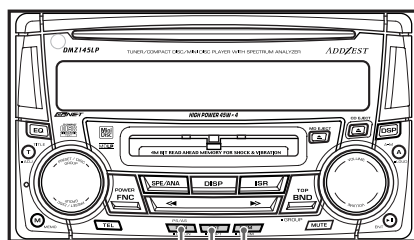
演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタンを押す

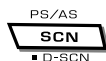
→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

CD/MDチェンジャーの操作

聴きたい曲を探す（スキャン演奏）

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスクの全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

PS/AS
SCN
■ D-SCN

→タイトル表示部に「**T-SCAN**」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ *スキャン演奏を解除するには…*

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→タイトル表示部の「**T-SCAN**」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいディスクを探す（ディスクスキャン演奏）

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内のディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける（約1秒間）

PS/AS
SCN
■ D-SCN

→タイトル表示部に「**D-SCAN**」を表示してディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■ *ディスクスキャン演奏を解除するには…*

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→タイトル表示部の「**D-SCAN**」が消え、いま演奏しているディスクから演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

RPT
■ D-RPT

→ディスプレイに「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**T-REPEAT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…
演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RDM
■ D-RDM

→ディスプレイに「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**T-RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT
■ D-RPT

→ディスプレイに「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**D-REPEAT**」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が消え、通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

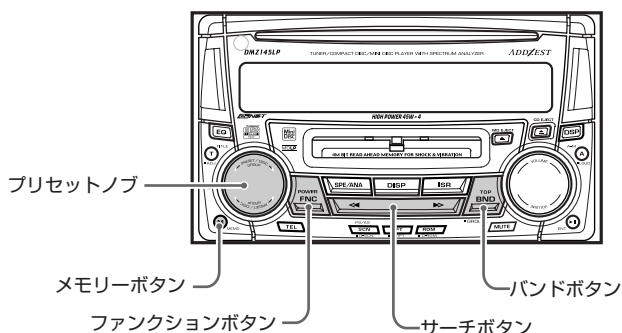
RDM
■ D-RDM

→ディスプレイに「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**D-RANDOM**」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

⚠警 告

運転者がテレビやビデオを見るときは､必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に､次の項目を確認して設定を変更してください。

•TVダイバーシティアンテナを使用しないときは､「TVダイバーシティを設定する」(51ページ)で､設定を「OFF」にしてください。

•受信地域内の放送局を表示させたいときは､「TVエリアを設定する」(50ページ)で受信エリアを設定してください。

TVモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して､TVモードを選ぶ

• 押すたびに､モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (TV) → (AUX) → ラジオ

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して､TV１またはTV2を選ぶ

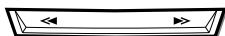
• 押すたびに､バンドが切り換わります。

TV1 → TV2 → TV1

自動選局する(シーク選局)

1 「**MANU**」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が消えると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「**MANU**」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

プリセット選局ついて…
あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

1 プリセットノブを回して、聴きたい放送局を選ぶ

(左側)

→ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

1 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

2 メモリーボタンを押す

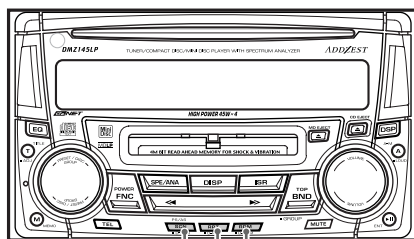
→ディスプレイの「**CH**」が点滅します。

3 プリセットノブを回して、登録したいプリセットメモリー番号を選ぶ

(左側)

4 メモリーボタンを押し続ける(約2秒間)

→登録されると、ディスプレイの「**CH**」表示が点滅から点灯に変わります。

テレビを見る

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…
自動受信したチャンネルを自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**A-STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

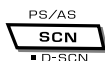
- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(１～6)にメモリーされていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンついて…
プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されているチャンネルを順に受信します。

1 スキャンボタンを押す

→タイトル表示部に「**TV1 P-SCN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ *プリセットスキャンを解除するには…*

もう一度、スキャンボタンを押してください。
→スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

1 リピートボタンを押す

→押すたびに、ステレオ音声(**STEREO**)とモノラル音声(**MONO**)を切り換えます。

主音声/副音声を切り換える

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

→押すたびに、主音声(**MAIN**)と副音声(**SUB**)を切り換えます。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

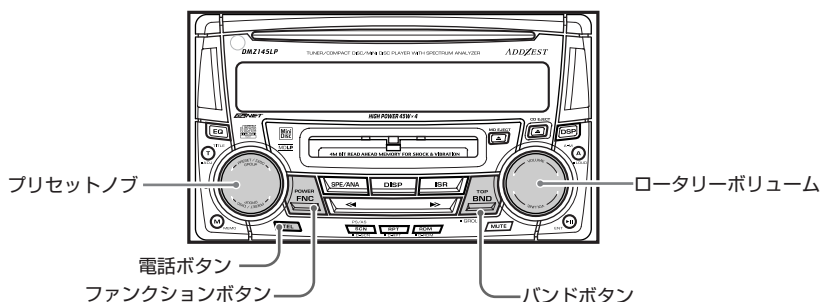
1 TVモード時にランダムボタンを押す

→TVモードからVTRモードに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■ *TVモードに戻すには…*

もう一度、ランダムボタンを押してください。

外部機器の操作

携帯電話機を操作する

本機は、別販のオーディオコントロール付TEL-LINK ユニット(JCH540Z)を接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。
※TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

⚠警 告

- 運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

電話をかける (スーパースピードダイヤル)

1 電話ボタンを押す

TEL

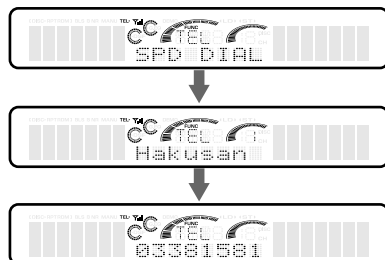
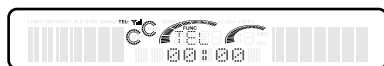
→電話モードに切り換わります。

2 プリセットノブを回す

(左側)

→携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出し、登録内容を音声で案内し、更にディスプレイ表示して、自動で発信します。

- ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。

●発信中の表示

●通話中の表示

- 通話時は、ディスプレイのモード表示部「**TEL**」が点灯します。
- 本機に登録されたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話機側で変更してください。

3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る

TEL

■ *通話を終了するには…*

バンドボタンを押してください。

着信電話を保留する

1 バンドボタンを押す

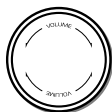
■ *保留を解除するには…*

ファンクションボタンを押してください。

通話音量を調整する

1 電話ボタンを押して、電話モードにする

TEL

2 ロータリーボリュームを回して、通話音量を調整する

（右側）

- 通話時にロータリーボリュームを回して調整することもできます。
- 調整した通話音量はメモリーされます。
- 電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

ご注意

- 通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。
  設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。
  スピーカーの設定のしかたは、「電話の割り込みを設定する」(51ページ)をご覧ください。

携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードにする

AUXモードについて…

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

1 ファンクションボタンを押して、AUXモードを選ぶ

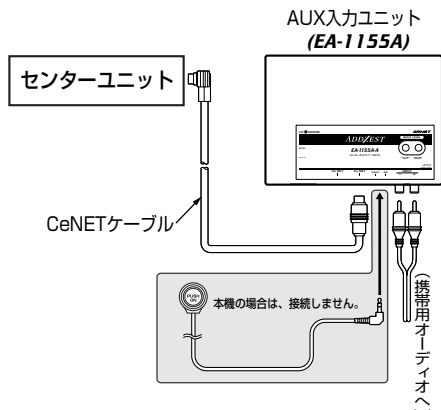
→押すたびに、次のように切り換わります。AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

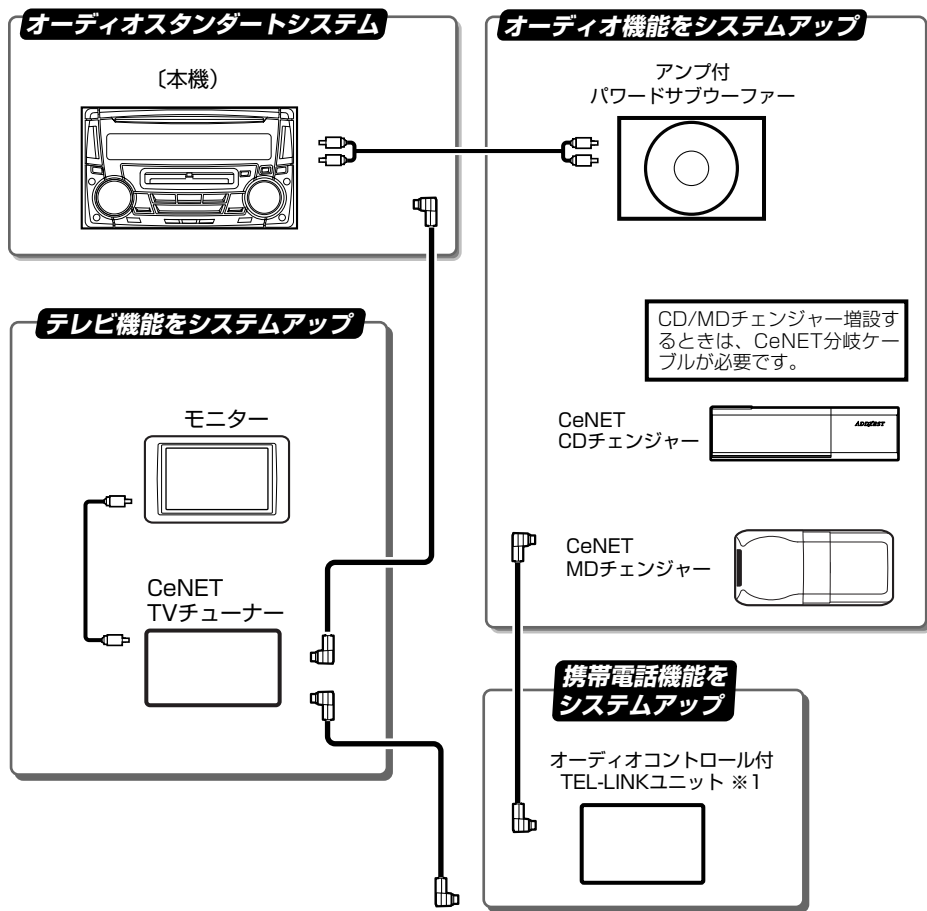
ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (TV) → (AUX) → ラジオ

■ *元のモードに戻すには…*

ファンクションボタンを押してください。

AUX入力ユニット接続のしかた

本機の場合には、AUX入力ユニットに付属のリードスイッチを接続する必要はありません。

システムアップについて

本機は CeNET マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

※1.TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

※2.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

：CeNETケーブル　(※2)

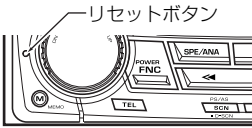
：RCAピンケーブル
または専用の接続ケーブル

その他

システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■ CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNETCDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNETMDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス⇔オス>
CeNET TVチューナー	2.5m <オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス⇔メス>

<>内は、コネクターの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現　　象	原　　因	処　　置
共通	電源が入らない（音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上に、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
CD	CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　　因	対処方法
MDモード	**ERROR2**	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
CDモード	**ERROR2**	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
CDチェンジャー	**ERROR2**	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
MDチェンジャー	**ERROR2**	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク（無録音）を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性	:	10Hz～20kHz±1dB
SN比	:	100dB
ダイナミックレンジ	:	95dB
高調波ひずみ率	:	0.01%

■MDプレーヤー部

周波数特性	:	20Hz～20kHz
SN比	:	90dB
ダイナミックレンジ	:	85dB
高調波ひずみ率	:	0.01%(1kHz)

■FMチューナー部

受信周波数	:	76.0MHz～90.0MHz
実用感度	:	9dBf
SN比	:	70dB
周波数特性	:	30Hz～15kHz±3dB
高調波ひずみ率	:	0.4%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数	:	522kHz～1,629kHz
実用感度	:	28dBμ
SN比	:	50dB

■DSP/EQ部

DSP	:	5モード
G.EQ	:	4モード

■オーディオ部

定格出力		:	17W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力		:	45W×4
適合インピーダンス		:	4Ω(4Ω～8Ω)
トーンコントロール	BASS	:	±13dB(30Hz)
	TREBLE	:	±10dB(10kHz)
ラウドネスコントロール		:	+8dB(100Hz)
(音量ボリューム −32dB)		:	+6dB(10kHz)
ラインアウト出力レベル(CD1kHz)		:	1.8V

■共通部

電源電圧	:	DC14.4V
接地方式	:	マイナス接地
消費電流	:	3.0A(1W時)
ヒューズ定格	:	15A/3A
外形寸法	:	178(W)×100(H)×179.5(D)mm (取付寸法:155(D)mm)
質量	:	2.1kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ(M5×8) 8本

＊ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品

その他

アフターサービスについて

■保証書
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間
お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室　TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
（土・日・祝・祭日を除く9：00～12：00、13：00～17：30）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製 造 番 号	

お客様へ……　ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2004/3　PA-4067A　280-8104-00